

With

高森荘からの情報発信 ウィズ

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

vol.51

2024.6/1



発行所 障害者支援施設 高森荘

〒999-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1

TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812

E-mail: f0720@amber.plala.or.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏



ある日の高森荘

松川事業所再開

3月のある日、毎月行われている『筆で遊ぼう会』が松川事業所でも行われました。感染症対策のため長らく休止を余儀なくされてきた松川事業所ですが新型コロナウイルスが5類に移行し5月で1年になることから再開することになりました。

久しぶりに外出し松川事業所まで来た利用者の皆さん。「春」をテーマに思い思いの文字を書き上げた後はティータイムでほっと一息。とてもゆったりとした時間を過ごすことができました。

今年度は松川事業所で過ごす様々な企画を検討中です。利用者の皆さんにとって新たな日中活動の場となればと思っています。

令和5年度 高森荘事業報告

1、重点事項として

- (1) 感染症対策の継続
 - ・新型コロナウイルス等の感染対策として、健康管理や予防対策等を類下げ以降も徹底していたが、年明けに集団感染が発生する。前回同様に協力病院の指導を仰ぎゾーニング等感染制御に職員一丸となつて取り組む。なお、この際に検討した日課変更や職種間の連携方法等の新たな取組は終息後も継続した。それは今年度に入つて急激に増大した支援、介護量にも有効な手段、方法論となつたため。
- (2) 個別支援計画
 - ・8月に県の指導監査(実地指導)が行われ、当事業所独特の「個別支援計画(C、Sプラン)」について説明し、評価をいただく。
- (3) 安全管理の確立
 - ・特定の利用者の方の転倒が頻発、事故報告5件中4件が転倒によるもの。要因としては原疾患の進行等が考えられた。下半期は加齢の影響か食事介助や排せつ等の介護業務が急増、コールも頻回となりその対応に翻
- (4) 障害者虐待の防止等の強化
 - ・「虐待の防止」「身体拘束の適正化」「ハラスメント」に対する取組を研修会等により利用者の皆様を巻き込む形で推進する。義務化等で今後も強化が必要、委員会中心に対応する方針。
- (5) 「意思決定支援」の取組と外部民間サービスの活用
 - ・今年度もカンファレンスで延命の意思を確認し記録化する。救急搬送された場合の家族を想定、その家族の高齢化や世代交代の課題に対処するため、民間業者の情報提供を行う。今年度4名の方が契約。家族の代理として医療機関との交渉、介護保険の紹介や入所手続き等、年度末には開設以来の長期入所利用の方が念願の特養に移られた。
- (6) 日常業務の改善
 - ・昨年度に引き続き据置型移乗リフト4台導入。うち2台自己資金、もう2台は国庫補助による。これで計5台となったが、今年度は

特に移乗、移動に支援を要するケースが急増、現場サイドから緊急要請があり決断する。

- ・職員の腰痛予防、負担軽減を意図に特殊浴槽(ミスト浴)導入を検討する。
- (7) 職員の資質向上
 - ・ジヨブローテーションによる人材育成の一環として、支援課役職者間で業務転換を行いリーダー育成の一助とする。有効な手段として今後も活用していきたい。
- 2、利用者様の動向と施設整備について
 - (1) 約4年間のコロナ禍による閉鎖的な施設生活からようやく解放されつつあった今年度、反比例するかのようにならぬよう各種疾病やメンタル面を含む体調不良者が続発する。特に秋から冬にかけては救急搬送等による入院者が多く、2名の方が亡くなられる。
 - (2) ここ数年の懸案事項であった駐車場の整備工事の一般競争入札を年度末に実施する。工事は来年度から本格的に開始の方針。

駐車場等大規模整備工事

今年度に入つて建物東側にある駐車場の整備工事を始めています。この用地は、平成30年度に地元の皆様のご協力で取得、それ以来未舗装となっていました。今回の工事では、アスファルト化と防犯対策としてのフェンスや各通用口の門扉設置を計画しています。また、長年の懸案事項であった玄関前南側出入口の門扉の設置は、土地の勾配等により断念し駐車場側に設けることにしました。(株)鈴木建築設計事務所様による設計、神稲建設(株)様の施工、工期は7月末となっています。お騒がせしますがよろしく願っています。

感染症対策講演会

感染症対策委員会では年に1回下伊那厚生病院感染症認定看護師の中山秀明さんをお招きし、さまざまな感染症に対し講演をして頂いております。

今回の講演では新型コロナウイルスの最近の傾向や5類移行後の対応、対策について講義を行って頂き、コロナウイルスに対する知識を再確認することができました。

しばらくは流行の波が繰り返されるのが予想されるため、適切な対応ができるよう現場で活用していきたいと思っております。また、今後も新たな感染症が発生する可能性があるため、日頃から訓練を行うとともに感染症対策を行っていききたいと思います。

令和5年度 苦情解決の結果

①職員の接遇に関するもの	1件
②サービスの質・量に関するもの	1件
③利用者のトラブルに関するもの	1件
合計	3件



TOM&KOMOTAの猿回し



とつても可愛いお猿のコモ太くんが県内唯一のパフォーマーであるトムさんと息の合った芸を披露してくれました。輪くぐりに『ドキドキ』玉乗りで『ハラハラ』輪投げに『クスリ』ハードルで『おぉお』

利用者さんからは「楽しかった。」「可愛かった。」「また来て欲しい。」「の聲が上がりがり、穏やかな時間を過ごすことができました。」

出張スポーツ教室

1月26日、久しぶりに出張スポーツ教室が行われました。サンスポーツ駒ヶ根より指導員の方2名が来園され、簡単なストレッチやボールを使ったゲームなどで楽しく身体を動かすことができました。

なかでも2チームに分かれたのミニゲームでは利用者の皆さんが熱く競い合う姿が印象に残りました。また、身体を動かすことの重要性にも気づかされました。

また次回も楽しみにしています。



緊急時対応研修会



高森消防署の救急救命士の方を講師にお招きし、緊急時対応研修を行いました。AEDの使い方や誤嚥窒息、頭部外傷などの緊急時の対応や、119番通報の際にどのような対応をしたらよいか、またどんな情報がほしいかなどの話を聞くことができました。

講義中も気兼ねなく質問を受け付けてくれ、こんな時はどうすればいいのかという不安に丁寧に答えていただきました。

近年高森荘では救急車を呼ぶことが年に数回あります。滅多にないことであるため、職員も不安の中で支援を行っていますが、今回の研修で少しでも不安なく利用者さんの支援にあたれたらと思います。

リフト・ミニスト浴槽導入

「支援者の負担軽減と業務の省力化」を目的に、令和5年度介護ロボット等導入支援事業にて据置型移乗リフト「マキシスカイ」を2台、令和6年度予算にて機械浴「シャワールポッド アラエル」1台を整備しました。

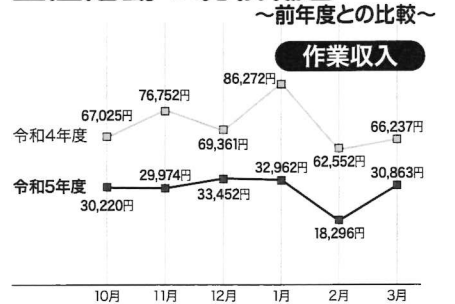
人力での介護が減り、支援者の肉体的な負担が軽減されていること、さらに多くの方に関わっていただき、スムーズに導入できたことに感謝の気持ちでいっぱいになります。

利用者様と職員が心地よく過ごせる事業所を目指して、最大限に活用をしていきます。



生産活動

生産活動の現状報告 (下半期)



コロナも5類に下がり落ち着いているように見えますが、その爪痕はまだまだ残っています。利用者の皆様の高齢化、障害の重度化などもあり、生産活動は受注量・収入額ともに年々減っています。そんな中でも日々利用者の皆様は出来る仕事を頑張ってくれており、映画鑑賞などの余暇をさみながら無理なく生産活動に勤しんでくれています。

2023年12月～2024年5月行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。



■ 敬 者
高森 荘

一日園長

12/11 **一日園長**

山吹区長 中平雅之様



節分豆まき

12/13 **忘年会**

12/26 **門松作り**



ましゅ&Kei

2/2 **節分豆まき**



春季 火災避難訓練

3/11 **春季 火災避難訓練**



忘年会

4/1 **開園記念日**



ぐるっとお花見

4/2～4/26 **ぐるっとお花見**



忘年会



手作りおやつ提供

栄養係では日常生活の中で楽しみや癒しの時間になってくれたら…との思いから、昨年より毎月手作りおやつを提供しています。

利用者の皆さんの反応も良く毎回楽しみにしていただいております。

今後も利用者の皆さんの希望もお聞きしながら、季節に沿ったおやつ作りをしていきたいと思っております。

手作りおやつ提供

編集後記

園内でも季節を感じていただけに、桜や鯉のぼりなど季節ごとに飾りつけを行っています。利用者の皆さんが笑顔で眺めている姿が印象的です。4月はお花見レクでドライブへ、5月からは外出ができるようになりました。感染症に注意しながら、利用者の皆さんが楽しみのある生活を送れるよう努めてまいります。



地域の方より

今年も地域の方が手作りの正月飾りや寄せ植えを持って来てくださいました。

玄関や居室などに飾りよいお正月を迎えることができました。

また、日頃から野菜や果物をいただくことも多く、物価高が続く中大変ありがたく感謝しております。

地域の方より